

カッターナイフの使用時に「ヒヤッ！」としたり、実際に手や指を切ってしまったことはありませんか？

また、仕事においては、ダンボールの梱包を解く際に、カッターで大怪我をする事例も多いそうです。

「あなたはカッターの使い方をきちんと教わりましたか？」

**きちんと教わった記憶はない。…100%**

九州高校造形芸術科2年生（66名）のアンケート結果

日常生活に無くてはならないカッターナイフなのに、多くの方に聞いても、「いつ」「誰から」「どの様な方法」で使用方法を学んだのか？その記憶は曖昧です。

カッターナイフの事故の原因は、**きちんとしたカッターナイフの使い方を学んでいない事**にあるのではないのでしょうか？

「刃物との付き合い方」

# 実は文部科学省は小学校2年生への刃物教育を推進しているんです!



第2学年 A表現(2)ア

「身近で扱いやすい材料や用具に慣れる」

用具とは、はさみ、のり、**簡単な小刀類**など児童が扱いやすいもの

文科省小学校学習指導要領 解説「図画・工作」



引用：文科省HPより

近年、実際に刃物教育に取り組んでいる小学校もありました。

今回、小学2年生に図画工作を教える先生3人に取材してきましたが、やはりここでも問題が・・・。

- ・家庭で刃物と触れ合う機会のない小学生の習得に時間がかかる!
- ・期間が空くと、またカッターをうまく使えなくなる 等

「刃物との付き合い方」

# そこで私たちは

## 更に効率的な刃物を使いこなすための教育プログラムを提案します。

### その名も「スイスイ・カッター」

「スイスイ・カッター」とは、小学校の教育において段階的に刃物の取り扱い方を指導していく教育プログラムです。段階は、全部で4段階に分かれ、習得技術によって次の段階へ進むことができます。TVゲーム大好きな小学生向けにRPG（ロールプレイングゲーム）的な要素を取り入れ、家庭でも親と一緒に楽しみながら取り組むことができます。

#### Level 0 「ヒナ」

まだ刃物を使ったことがない



#### Level 1 「ヒヨコ」 (2年生対象)

##### 必要スキル

- 刃物取り扱いレベル1
- 刃物練度レベル1~2  
直線を安全に切ることが出来る  
曲線を切ることが出来る（薄い紙）
- 刃物耐性レベル1  
刃物を怖がらない
- 緊急対応レベル1  
ケガした時の対処法



#### Level 2 「ニワトリ」 (3年生対象)

##### 必要スキル

- 刃物取り扱いレベル2
- 刃物練度レベル3~4  
直線を安全に切ることが出来る  
曲線を切ることが出来る（分厚い紙）
- 刃物耐性レベル2  
刃物を怖がらない
- 緊急対応レベル2  
ケガをした時の対処法



#### Level 3 「イーグル」 (4年生対象)

##### 必要スキル

- 刃物取り扱いレベル3
- 刃物練度レベル5~6  
条件：鉛筆削りダンジョンクリア
- 刃物耐性レベル3  
刃物に慣れる
- 緊急対応レベル3  
仲間がケガをした時の対処法



#### Level 4 「フェニックス」 (5年生対象)

##### 必要スキル

- 刃物取り扱いレベル4
- 刃物練度レベル7~8  
条件：竹とんぼ制作クエストクリア
- 刃物耐性レベル4  
刃物に慣れる
- 緊急対応レベル4  
仲間がケガをした時の対処法



「カッターマスター」の称号

お父さん：「level3 イーグルになる為には、刃物練度レベル4が必要だ！ このワークシートで修行するぞ！」

息 子：「分かったよ！マスター！ 僕は絶対 level3 イーグルになるよ！！」

「刃物との付き合い方」

# Level1 ヒヨコ になる為の修行メニュー

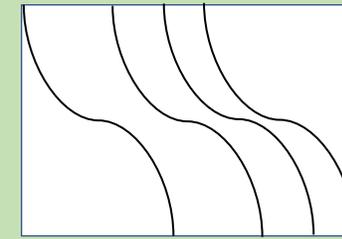
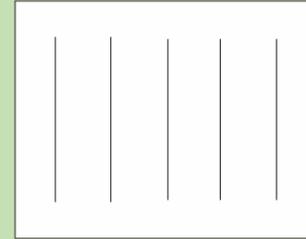


これが出来れば、  
君もヒヨコの仲間  
入りだ！

## スイスイ・カッター Level1 「ヒヨコ」 進化 必要スキル

- 刃物取り扱いレベル1
- 刃物練度レベル1~2  
直線を安全に切ることが出来る  
曲線を切ることが出来る
- 刃物耐性レベル1  
刃物を怖がらない
- 緊急対応レベル1  
ケガした時の対処法

刃物の安全な渡し方や、基本的な管理方法など、二人一組でペアを組み、実際に体を使って学びます。



Level1ヒヨコ用のワークシートで練習します。  
最後にレベルUPのシートに取り組みうまくできたらレベルがUPします。

指を切ってしまった際の行動を実際に体を動かして学びます。

1. 慌てないで、カッターを置く。
2. 傷口を押さえる。
3. 大人を呼ぶ。



昔、多くの子供たちは小刀や肥後守で、竹や木片を削って、様々な遊び道具を作ってきたそうです。しかし、2004年6月に長崎の小学校で起こった事件をきっかけに刃物と子供たちとの関係は大きく見直されました。小中学校への刃物の持ち込みは禁止となり、事故を避けるため消極的な刃物の指導が行われてきました。

その結果、現代の子供は刃物と触れ合える時間を奪われ、刃物の便利さと、その裏に隠れている危うさを実感する機会は減っています。

刃物はとても危険です。使い方を間違えれば、自分も自分の大切な人も傷つけてしまいます。**だからこそ、私たちは刃物についてその恐ろしさや大切さを正しく理解することが必要です。**

「刃物は道具であり凶器ではない。」

スイスイ・カッターは、未来の子供達が社会を築いてために必要なスキルの一つを与えてくれます。

「刃物との付き合い方」